

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公開番号】特開2013-158495(P2013-158495A)
 【公開日】平成25年8月19日(2013.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報2013-044
 【出願番号】特願2012-23358(P2012-23358)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】
 【提出日】平成26年2月28日(2014.2.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技者による開始操作が行われることに基づいて複数列の図柄を変動させる遊技が図柄表示装置で開始され、前記図柄表示装置に表示結果が導出されることにより 1 回の遊技が終了し、前記図柄表示装置の表示結果に応じて入賞が発生可能とされる遊技機において、
遊技状態を制御する手段であって、通常遊技状態において第 1 の移行条件が成立したときに第 1 有利遊技状態に制御し、前記第 1 有利遊技状態において第 2 の移行条件が成立したときに前記第 1 有利遊技状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有利遊技状態に制御し、前記第 2 有利遊技状態において所定回数の遊技を行うことにより前記第 1 有利遊技状態に制御し、特別移行条件が成立したときに特別遊技状態に制御する遊技状態制御手段と、
 前記第 1 有利遊技状態と前記第 2 有利遊技状態で遊技者にとって有利となる有利情報を報知するための制御を行う報知制御手段と、

前記第 1 有利遊技状態での前記報知制御手段による前記有利情報を報知する報知期間として遊技の回数を設定する報知期間設定手段と、を備え、

前記報知制御手段は、前記第 1 有利遊技状態における前記有利情報の報知を前記報知期間に基づく回数の遊技を行うことで終了させるとともに、前記第 1 有利遊技状態から前記第 2 有利遊技状態に移行した場合には前記報知期間の残り遊技回数を保持し、

前記報知期間設定手段は、前記第 2 有利遊技状態中において前記特別移行条件の成立を許容する旨の決定がなされた場合、該第 2 有利遊技状態の経過遊技回数に基づいた遊技回数を前記報知期間に加算することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技状態制御手段は、前記第 1 有利遊技状態において特定入賞の発生を許容する特定入賞役の決定に基づく前記第 2 の移行条件が成立したときに前記第 2 有利遊技状態に制御し、前記第 2 の移行条件が成立し得る場合に第 1 の表示結果が導出されるときに前記第 2 有利遊技状態に制御する一方、前記第 1 有利遊技状態において前記第 2 の移行条件が成立し得る場合に第 2 の表示結果が導出されたときに前記通常遊技状態に制御するようになり、

前記報知制御手段は、前記報知期間における前記有利情報として前記第 2 の移行条件が

成立し得るときに前記第 1 の表示結果の導出を導く情報を報知する請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 有利遊技状態及び前記第 2 有利遊技状態は、前記通常遊技状態に比べて再遊技が付与される確率が高い請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記図柄表示装置とは異なる装置であって前記遊技に係る表示演出を行う表示演出装置と、

前記表示演出装置の表示内容を制御する表示制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記第 2 有利遊技状態における表示内容として前記遊技が行われることに伴って更新表示する前記第 2 有利遊技状態の経過遊技回数と前記遊技が行われることに伴って更新表示する前記報知期間の残り遊技回数とを表示させるとともに、前記第 2 有利遊技状態において前記特別移行条件の成立を許容する旨の決定がなされた後も該特別移行条件の成立までの間、前記第 2 有利遊技状態の経過遊技回数の更新表示を継続して行う請求項 1 ～請求項 3 のうち何れか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために請求項 1 に記載の発明は、遊技者による開始操作が行われることに基いて複数列の図柄を変動させる遊技が図柄表示装置で開始され、前記図柄表示装置に表示結果が導出されることにより 1 回の遊技が終了し、前記図柄表示装置の表示結果に応じて入賞が発生可能とされる遊技機において、遊技状態を制御する手段であって、通常遊技状態において第 1 の移行条件が成立したときに第 1 有利遊技状態に制御し、前記第 1 有利遊技状態において第 2 の移行条件が成立したときに前記第 1 有利遊技状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有利遊技状態に制御し、前記第 2 有利遊技状態において所定回数の遊技を行うことにより前記第 1 有利遊技状態に制御し、特別移行条件が成立したときに特別遊技状態に制御する遊技状態制御手段と、前記第 1 有利遊技状態と前記第 2 有利遊技状態で遊技者にとって有利となる有利情報を報知するための制御を行う報知制御手段と、前記第 1 有利遊技状態での前記報知制御手段による前記有利情報を報知する報知期間として遊技の回数を設定する報知期間設定手段と、を備え、前記報知制御手段は、前記第 1 有利遊技状態における前記有利情報の報知を前記報知期間に基づく回数の遊技を行うことで終了させるとともに、前記第 1 有利遊技状態から前記第 2 有利遊技状態に移行した場合には前記報知期間の残り遊技回数を保持し、前記報知期間設定手段は、前記第 2 有利遊技状態中において前記特別移行条件の成立を許容する旨の決定がなされた場合、該第 2 有利遊技状態の経過遊技回数に基づいた遊技回数を前記報知期間に加算することを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記遊技状態制御手段は、前記第 1 有利遊技状態において特定入賞の発生を許容する特定入賞役の決定に基づく前記第 2 の移行条件が成立したときに前記第 2 有利遊技状態に制御し、前記第 2 の移行条件が成立し得る場合に第 1 の表示結果が導出されるときに前記第 2 有利遊技状態に制御する一方、前記第 1 有利遊技状態において前記第 2 の移行条件が成立し得る場合に第 2 の表示

結果が導出されたときに前記通常遊技状態に制御するようになっており、前記報知制御手段は、前記報知期間における前記有利情報として前記第2の移行条件が成立し得るときに前記第1の表示結果の導出を導く情報を報知することを要旨とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項3に記載の発明は、請求項1又は請求項2に記載の遊技機において、前記第1有利遊技状態及び前記第2有利遊技状態は、前記通常遊技状態に比べて再遊技が付与される確率が高いことを要旨とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項4に記載の発明は、請求項1～請求項3のうち何れか一項に記載の遊技機において、前記図柄表示装置とは異なる装置であって前記遊技に係る表示演出を行う表示演出装置と、前記表示演出装置の表示内容を制御する表示制御手段と、を備え、前記表示制御手段は、前記第2有利遊技状態における表示内容として前記遊技が行われることに伴って更新表示する前記第2有利遊技状態の経過遊技回数と前記遊技が行われることに伴って更新表示する前記報知期間の残り遊技回数とを表示させるとともに、前記第2有利遊技状態において前記特別移行条件の成立を許容する旨の決定がなされた後も該特別移行条件の成立までの間、前記第2有利遊技状態の経過遊技回数の更新表示を継続して行うことを要旨とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0302

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0302】

(イ)前記遊技状態制御手段は、前記有利遊技状態中において前記特別入賞の発生を許容する旨の決定がなされた後、前記遊技が行われても前記有利遊技状態の経過遊技回数の更新を停止する。